



NPO法人ふるさと幸袋まちづくり支援センター

連絡先 〒820-0001 飯塚市幸袋48番地1 (有) 幸袋タクシー内 電話0948-22-1827

FAX0948-26-3387



活動のあしあと

設立後、未だ日浅く顕著な活動はないが、伊藤邸の本格的整備に先立ち19年2月末から3月初めにかけて邸内の一時開放が行われた際、多数の見学者の来訪を予期し、見学者の便を図って軽食販売を実施した。その後、伊藤邸開館記念として4月には、将来飯塚の嘉徳劇場と幸袋の伊藤邸を結ぶ〈川ひらた〉の観光船便開拓を予期した『川ひらた』復元の試乗イベントに協賛して、一般に昔盛んだった〈川ひらた船による石炭運送〉を想起させる、遠賀川の観光的価値のPRに努めた。

今後の方向性（夢）

我々の活動を、最近、地域住民も理解して協力の兆しが見え、自分たちの町〈まちづくり〉は自分たちでの意欲も高まってきたので、更に今後期待が持て、近い将来には幸袋周辺は見違えるほどの状況になるであろう。

活動の目的

かつてこの筑豊一体が石炭産業で盛んだった頃、石炭経営で成功し、そこで得た巨万の富を地域社会に積極的に還元した石炭王伊藤伝右衛門と、その妻・柳原あき子（歌人としての雅号、白連）が住んでいた幸袋の邸宅を、今般飯塚市が取得し、市の文化遺産として観光の対象とする好機に、その幸袋を故郷に持つ我々住民としては伊藤邸の前通りが江戸時代における長崎街道の跡であることから、その歴史ある幸袋の街並の景観と風致を重んじ、さらには東を流れる遠賀川が往昔には、石炭を運んだ由緒ある川であることを認識し、この幸袋の昔の貴重な歴史と文化を長く維持・継続することを目的として〈まちづくり〉を積極的に支援していく。

活動の内容

伊藤邸が明治の末年に建てられたことから、同邸の風格と風致に合うようなクラシックで明るい街にすべく、先般来より、周辺の道路整備・街灯などの整備を、県と市当局に陳情する一方昔の遠賀川の歴史を尊重して、水辺の自然を維持すべく諸種の活動を展開中である。



歴史をひもとく遠賀川、あらたな歴史が刻まれる遠賀川。